

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

令和4年度

文教厚生委員会

議会報告会



委員会メンバー

- | | | | | | | |
|-----|------|-------|------|------|------|--|
| 委員長 | 嶺岡慎悟 | 副委員長 | 窪野愛子 | | | |
| 委員 | 二村禮一 | 勝川志保子 | 橋本勝弘 | 山田浩司 | 高橋篤仁 | |

★あなたの夢、★
描いたつづきは
★掛川で。★

令和4年度 文教厚生委員会

～年間テーマ～

新しい学校施設の在り方について

テーマ設定の経緯

掛川市は、7月から9月に「学校再編計画の策定に向けた市民意見交換会」を各中学校区（9か所）で開催し、今年度末もしくは来年度早々に学校再編計画の策定を予定している。



学校再編計画は、掛川市のまちづくりにとって大変重要な計画です。教育委員会を所管する文教厚生委員会として、他市の事例を調査・研究し、議員の立場から学校再編計画を考えるために年間テーマに設定しました。

学校再編の必要性

※学校再編計画の策定に向けた市民意見交換会資料抜粋

①授業の変化

⇒子ども自身が、主体的・対話的で深い学びを重視
「生きる力」を育成する授業改革、1人1台タブレット

②少子化の進行

⇒平成当初に比べ、約30%の児童数の減
小学校22校中11校が全ての学年が単学級
数年後には複式学級になってしまう学校への対応

③学校施設の老朽化

⇒市内学校の多くは昭和40年代に建設され、2年後には
市内小中学校31校中14校が築50年以上となる。

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

掛川市の方針

新しい学校施設
の在り方について

※学校再編計画の策定に向けた市民意見交換会資料抜粋

施設**一体型**小中一貫校



小中学校を1つに

一般的に
イメージする
のはこの形態
だけど・・・

施設**分離型**小中一貫校



施設**隣接型**小中一貫校



中学校

小学校

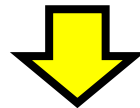
どの形態でも一貫教育を
実施していれば
小中一貫校と言います

学校再編の進め方

①中学校区毎（9中学校区）の市民意見交換会（実施済）

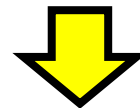


②令和4年度末頃 学校再編計画の策定（パブコメの実施）



③優先順位付けをした中学校区で再編プランの検討

- ・地域検討委員会やワークショップの実施
- ・新たな学園・学校づくり基本構想の策定（中学校区別）



④基本設計、実施設計、建設工事の着手

- ・本年度は、磐田市などの県内の先進事例を調査・研究し、掛川市での取組に活かしていく
- ・学校再編によって、小学校や中学校の位置が変わり、地域の状況が一変する可能性がある。賛否両論あることが想定され、地域住民と共に考えていく
- ・議会報告会で頂いた意見を参考に、学校再編計画策定に向けての市当局への提言や意見に繋げていく

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

磐田市 (ながふじ学府一体校)

新しい学校施設
の在り方について

建設年 2021年4月

延床面積 17,372㎡

建設費 約58億円

豊田北部小学校と豊田中学校を一体校として建設し
豊田東小学校は既存校舎を使い小中一貫教育を推進



地域に開放された図書館を併設



地域連携室やランチルームを
設け地域住民との交流を促進



プール、体育館を2階に設置し、
浸水区域へ対応

委員からの意見

- ・耐用年数が残っている小学校は現状維持し、将来必要に応じて検討する2段階統合の考え方は参考にするべき。
- ・地域住民が校内に出入りする共用ゾーンを設ける等、公共施設を複合化し、地域が親しみやすい子育て環境となっている。
- ・校内に市立図書館と学校図書館が併設され、子どもたちにとって良い読書環境である。
- ・特別教室、体育館、プールなど小中共用することでコストを抑えている。
- ・校舎が一体のため職員室も一つとなり、教員の連携は取りやすい。ただし、組織としては小学校と中学校に分かれている。
- ・目の届く範囲を考慮し適正規模を1,000人以内としている。

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

静岡市（蒲原小中一貫校）

新しい学校施設
の在り方について

建設予定年 令和7年度開校予定

延床面積 7,700㎡

建設費想定 25億円程度

・令和2年5月に蒲原地区連合自治会、PTA連絡協議会、蒲原まちづくり委員会から要望書の提出を受け、計画が進められている。

・蒲原西小学校と蒲原東小学校を現在の蒲原中学校の位置に小中一体校として建設予定。



オンラインにより調査

旧蒲原町内において、蒲原西小学校は西の端、蒲原中学校は東の端にあるため、蒲原西小学校の保護者への理解に課題がある。
跡地については、現時点では未定。

委員からの意見

- ・蒲原東小学校は、海に近く津波の心配があったため、防災上の観点からも理解を得やすかったと感じた。
- ・蒲原地区は電車を利用して移動することになる。掛川市の場合、天浜線の利用などを検討することも1つの方法である。
- ・住民からの要望や提言があつてからのスタートとなっているところは参考にすべき。
- ・一体型、分離型については検証が必要。見積もりによっては、敷地が用意できれば、建設費のコストを削減することができる。
- ・小規模の小中一貫校という観点において参考になる。

島田市（初倉小中一貫校）

島田市立小中学校再編計画を令和元年に策定

北部地区

- ・ 令和3年4月に北中学校と島田第一中学校統合
- ・ 令和6年4月に5小学校の統合
- ・ 現在、島田第一小学校敷地へ新校舎を建設中



島田第一小学校改築イメージ

初倉地区（吉田町に隣接する南部地区）

- ・ 令和3年4月に湯日小学校と初倉小学校を統合
- ・ 初倉地区小中学校再編方針検討委員会から提言書を令和4年1月に提出
- ・ 令和15年度の開校を目指し、初倉中学校と初倉小学校、初倉南小学校を併せた施設一体型小中一貫校の建設予定



オンラインにより調査

委員からの意見

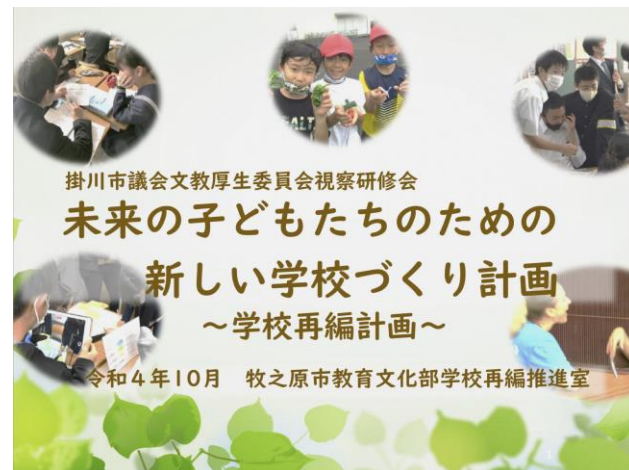
- ・ 地域アンケートの調査結果とは異なる施設一体型とする再編方針案を示しているが、今後の地域の合意形成過程に不安を残す。
- ・ 一体型か分離型かは、場所の選定、既存校舎の活用など総合的に検証する必要がある。
- ・ 初倉小中一貫校は、建設コストを70億円余りと想定しているが、他の自治体と比べて高額になっている。敷地を新たに造成する場合、過大投資にならないよう設備内容は慎重に検討する必要がある。

あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

牧之原市（学校再編計画）

新しい学校施設
の在り方について

- ・令和4年3月「未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画～学校再編計画～」を策定
- ・平成29年度から、子どもたちの望ましい教育環境の検討から始め、市民参加機会を119回行い、参加人数は延べ4,300人以上、意見数は5,000件以上
- ・令和12年の開校に向けて、市立小学校8校、市立中学校2校を再編し、榛原地域に1校、相良地域に1校の義務教育学校を整備する計画



オンラインにより調査

小中一貫校（施設一体型）：小学校6年間、中学校3年間として、一つの校舎で学ぶ。
校長はそれぞれ1人ずつ

義務教育学校：一人の校長と一つの教職員組織が9年間一貫した教育を行う。

委員からの意見

- ・ 8小学校と2中学校を2校の義務教育学校（小中一貫校）に再編するかなり大胆な計画だと感じる。
- ・ 9学年の義務教育学校として1,000人越えの大規模校となり、国が示す適正規模より大きい学校になることが予測される。
- ・ 市民意見を丁寧に聴取している。
- ・ 多くの子どもたちがスクールバスが必要になるなどまだまだ課題が多いと感じた。

まとめ①

- ①学校再編計画の実施計画を進めていくには、地元合意が必須であり、地元合意が無ければ進めるべきではない。
- ②図書館やカフェなどを学校に複合施設化することで、地域住民が学校と交流しやすい環境を整えることも選択肢として重要である。
- ③一気に統合を進めるのではなく、校舎の老朽化や適正規模（※）を踏まえながら小中一貫校を新設し、将来的な生徒数の減少に応じて統合していく方法も検討に値する。

※文部科学省が示す適正規模：小学校、中学校ともに12学級以上18学級以下

④施設一体型の小中一貫校は、アンケート結果からも約7割の保護者は望んでいない。一体型か分離型かはしっかりとした検証が必要であり、実例見学会等を通し、メリット・デメリットを理解できるよう努めるべきである。

⑤スクールバスが大きな課題である。天浜線や既存バスなどの活用を十分に検討し、市内で不公平感のない計画となることが大切である。

◆あなたの夢、◆
描いたつづきは
◆掛川で。◆

新しい学校施設
の在り方について

ご清聴ありがとうございました。